

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	保健衛生事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	二宮眞由美
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する		
④中施策事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8020表彰：80歳以上で自分の歯を20本以上保っている市民 ・ フッ素塗布：1歳以上の市民 		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	生涯にわたり歯を20本以上保ち、健康の保持増進につとめている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 8020表彰及び歯の衛生週間におけるフッ素塗布事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
8020表彰式・歯の衛生週間に実施するフッ素塗布人数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		430	440	450	460	470
	実績値	411	435				
単位	人						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			287,024千円	134,491千円	
人件費	a 事業費合計		286,428千円	133,900千円	13,546千円
	正規職員	人数	0.1人	0.1人	
		b 金額	596千円	591千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		596千円	591千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			287,024千円	134,491千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			4,172円	1,955円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	歯科医師会と協議し事業を実施しており、歯の大切さを広く周知する事業となっている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民周知は広報だけでなく、歯の衛生週間で実施するフッ素塗布は、保育園や幼稚園へ、8020表彰は老人クラブへ出向き広報活動を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	事業の広報活動を現年度に引き続き実施する。事業の改善の必要性は現時点では感じていないが、必要時歯科医師会と協議していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	成人検（健）診事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	二宮眞由美
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	1年に1度検（健）診を受診する。結果により、医療機関への受診等、健康に過ごすための行動を起こすことができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	がん検診・歯科健診・骨粗鬆症検診・特定健診・はつらつ健診・35-39歳健診		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
胃がん検診における精密検査受診率 (要精密検査者数÷精密検査受診者数)	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		87	87	88	88	89
	実績値	86.2	77.6				
単位	%						
各種がん検診延受診人数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		24,000	25,000	26,000	27,000	28,000
	実績値	22,931	24,347				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			163,151千円	181,491千円	
人件費	a 事業費合計		145,298千円	163,764千円	157,868千円
	正規職員	人数	3人	3人	
		b 金額	17,853千円	17,727千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	1.5人	1.5人	
		金額	1,135千円	1,175千円	
人件費合計		18,988千円	18,902千円		
② 補助金等(収入)			30,274千円	32,298千円	0千円
③ コスト(①-②)			132,877千円	149,193千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1,931円	2,168円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	精密検査受診率においては下がっている。未受診者には再度勧奨しているが、受診率の向上に向け、医療機関との連携や通知内容の見直等検討が必要。検診の受診者を増やすためにはより多くの市民、とりわけ若い世代に受診してもらうためには、医療機関方式の実施期間の延長や個人通知について改善が必要。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	広報や折込チラシを工夫し、よりわかりやすく周知する。受診率の向上を目指し、協定けんぽと共同で、特定健診とがん検診を同時実施する。実施後、課題等検証し、豊明市国民健康保険対象者向けの検診を検討する。精密検査が必要な対象者には、医療機関の協力を得ながら受診率の向上に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	個人通知対象者の拡大や、豊明市国民健康保険対象者に対して特定健診とがん検診を同日に実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	休日診療所事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	二宮眞由美
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> 日・祝祭日、年末年始に豊明市休日診療所を受診した者 市民 		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	<ul style="list-style-type: none"> 適切にかかりつけ医を受診できている 急病の場合、豊明市診療所を知っており受診できている 緊急時に受診できる病院を知っており、受診することができる 		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 豊明市休日診療所事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
患者人数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績値	2,006	1,885				
単位	人						
市内にある、休日・夜間に診療可能な病院数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		4	4	4	4	4
	実績値	4	4				
単位	件						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			20,368千円	20,926千円	
人件費	a 事業費合計		19,772千円	20,335千円	20,206千円
	正規職員	人数	0.1人	0.1人	
		b 金額	596千円	591千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	12人	12人	
		金額	3,297千円	3,302千円	
人件費合計		3,893千円	3,893千円		
② 補助金等(収入)			21,216千円	21,172千円	0千円
③ コスト(①-②)			-848千円	-246千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			-12円	-4円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	広報やホームページに急病の場合の受診方法について周知している。市のコスト面において、黒字収支となっている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	3年に1度作成される、医師会・歯科医師会が作成する医療機関マップに、急病時の受診先について掲載する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	豊明市休日診療所と緊急時に対応してもらえる相談先を、継続してホームページや広報に掲載する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	健康づくり事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	二宮眞由美
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	市民の体調や基礎体力を整えるための活動を支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民自ら健康の増進や疾病予防のために行動し、また地域全体でも取り組んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座及び各種教室 ・ 健康マイレージ普及活動 ・ とよあけ健康ウォーキング 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
とよあけ健康ウォーキング参加人数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		830	830	830	830	830
	実績値	820	719				
単位	人						
大金星マイレージシートまいか交換枚数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		20	50	100	150	200
	実績値	0	23				
単位	枚						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			11,184千円	11,133千円	
人件費	a 事業費合計		472千円	496千円	463千円
	正規職員	人数	1.8人	1.8人	
		b 金額	10,712千円	10,637千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		10,712千円	10,637千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			11,184千円	11,133千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			163円	162円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	運動習慣の定着をめざして、ウォーキング活動を実践する推進グループ支援を実施。また、健康マイレージ事業をツールに、地域や企業に出向き、運動など健康に関する情報を提供した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ウォーキング推進グループの担い手が不足していることから、推進員募集のPR活動や事業の見直しが必要である。大金星マイレージの周知を各事業で行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	第2次とよあけ健康21計画の中間評価にあわせ、地域での運動活動について情報収集し、ウォーキング事業を見直しする。大金星マイレージ事業は、市民に広く周知する取組みの必要があります。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	妊娠出産子育てワンストップ事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	二宮眞由美
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	家庭や地域が子どもを大切に思い、支え合うことができるまちを醸成する		
④中施策事業の対象	妊娠期から就学前までの子どもとその親 乳幼児～小学生のいる家庭		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	妊娠期より心配なことがあれば相談することができ、安心して子育てでき、子どものいる親が安心して働くことができる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	利用者支援者事業(母子保健型)、ファミリー・サポート・センター事業、産後ケア事業、		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
支援プラン作成件数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		30	35	40	45	50
	実績値	0	31				
単位	延件数						
ふあみさぼ利用件数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績値	3,096	2,760				
単位	延件数						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			12,276千円	17,085千円	
人件費	a 事業費合計		374千円	5,267千円	7,998千円
	正規職員	人数	2人	2人	
		b 金額	11,902千円	11,818千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	2人	2人	
		金額	1,514千円	1,566千円	
人件費合計		13,416千円	13,384千円		
② 補助金等(収入)			0千円	4,502千円	0千円
③ コスト(①-②)			12,276千円	12,583千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			178円	183円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	妊娠届出時に面接を実施し、アンケート内容や家族機能等を基に担当者だけの判断ではなく、おやこ応援係を中心に課全体で協議し、関係機関と連携を図り、適切な支援方針を立て支援している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	複雑・多様化する親子への支援には関係機関との連携は必要不可欠であり、産婦人科だけでなく、精神科等、顔が見える形で連携し、必要時迅速に対応するために更に充実を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	連携強化のための児童福祉課との調整	
今後、改善・拡大する事業	事業名 産婦健診	内容、理由、時期等 産婦健診受診票を現在は1枚発行しているが、産後うつ等産婦の精神状態等を把握し、うつ病の症状の早期発見や適切な受療のための支援を充実させるため、2枚発行する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	母子保健事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	二宮眞由美
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	ゆとりを持って男女共に子育てを楽しむことができるよう応援する		
④中施策事業の対象	妊娠期から就学前までの子どもとその親		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	妊娠期より心配なことがあれば相談することができ、安心して子育てできている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付 ・心理個別相談 ・家庭訪問 ・マタニティクラス ・プレママ交流会 ・ブックスタート ・離乳食講習会 ・フッ素塗布 ・いのちの尊重推進事業 ・妊産婦健診 ・乳幼児健診 ・なかよし教室 ・発達相談 ・親支援教室 ・育児相談 ・養育支援訪問 ・一般不妊治療費助成 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
3か月健診の間診 項目「ゆったりと した気分で過ごせ る」と回答した保 護者の割合	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		87	87	88	89	90
	実績値	86.3	83.2				
単位	%						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			102,909千円	106,684千円	
人 件 費	a 事業費合計		85,056千円	88,957千円	103,704千円
	正規職員	人数	3人	3人	
		b 金額	17,853千円	17,727千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	12.5人	12.5人	
		金額	9,460千円	9,789千円	
人件費合計		27,313千円	27,516千円		
② 補助金等(収入)			926千円	554千円	0千円
③ コスト(①-②)			101,983千円	106,130千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1,482円	1,543円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>妊娠期から就学前までの子育て期において、母子保健事業を通し、連続性を大切にしながら個別的・集团的にきめ細かい支援を実施している。</p> <p>評価指標の目標値はあまり達成できていない状況である。母子保健事業のみでなく、妊娠出産子育てワンストップ事業と連動して実施していく。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	支援を必要とする方には、妊娠出産子育てワンストップの新規事業である産後ケア事業や養育支援訪問事業を実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	助産師会と連携し、マタニティクラス等の事業内容や運営方法を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 新生児聴覚検査	内容、理由、時期等 聴覚障害は、早期に発見され適切な支援が行われた場合には、聴覚障害による音声言語発達への影響が最小限に抑えられることから、その早期発見・早期療育を図るために平成30年度から実施する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	食育推進事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	二宮眞由美
①めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる		
②大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる		
③中施策	子どもの健康な育みを支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	食に関する正しい知識を持ち、健康的な生活を過ごす		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期、乳幼児期の教室 (プレママ交流会・おやこ料理教室・離乳食講習会・1歳からの食事セミナー) 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
3歳児健診の問診 項目「朝ごはんを 食べている」と回 答のあった児の割 合	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		95	95	96	96	96
	実績値	94.8	94				
単位	%						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			6,072千円	6,161千円	
人 件 費	a 事業費合計		121千円	252千円	307千円
	正規職員	人数	1人	1人	
		b 金額	5,951千円	5,909千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,951千円	5,909千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			6,072千円	6,161千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			88円	90円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	妊娠期から乳幼児期において、食に関する教室を開催するだけでなく、乳幼児健診や育児相談など一体となって食育推進にあたっている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「第2次とよあけ健康21計画」のヘルシーレシピ推進を目的として、平成26年度から関係各課や団体との「食育ネットワーク会議」を実施している。現年度は、それ以外の各課において実施している「食」に関する事業について、情報共有を図り、より一層の効果的な実施を目的として、各課担当者との打ち合わせの機会を持つ。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名 「食生活改善推進員」養成講座	内容、理由、時期等 地域における食育推進の担い手となるボランティアの養成講座を開催する。 平成29年度実施し、3年ごとに定期的に開催し活動の充実を図る。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		